

『ろうきんSDGs行動指針』に沿った北陸ろうきんの社会貢献活動

〈ろうきん〉ではSDGsの実現に向けた取り組みを展開するにあたり、2019年3月に『ろうきんSDGs行動指針』を策定しました。SDGsのスローガンである「誰ひとり取り残さない」や、全ての人々が必要な金融サービスにアクセスでき利用できる状況を目指す「金融包摂」の考え方は、〈ろうきん〉の設立経過や『ろうきんの理念』『ろうきんビジョン』と合致するものです。

当金庫においてもこの指針に則り、労金運動を通じた勤労者の生活向上という、〈ろうきん〉の使命を徹底追及することを通じて、協働組織としての役割を發揮し、SDGs達成に取り組んでいます。

今年度も『ろうきんの理念』に基づき、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与するため、SDGs目標17のうち8つの目標を掲げ、『ろうきんSDGs行動指針』に沿った社会貢献活動に取り組みました。

北陸ろうきんSDGs目標8つのゴール

	目標1 貧困をなくそう		目標3 すべての人に健康と福祉を		目標4 質の高い教育をみんなに
	目標5 ジェンダー平等を実現しよう		目標8 働きがいも経済成長も		目標14 海の豊かさを守ろう
	目標15 陸の豊かさを守ろう		目標17 パートナーシップで目標を達成しよう		

ろうきんSDGs行動指針

ろうきんSDGs行動指針 ~ 2019年3月~

- 〈ろうきん〉は、「ろうきんの理念」とそれを実現するための「ろうきんビジョン」に基づき、勤労者のための非営利の協同組織金融機関として、勤労者の生涯にわたる生活向上のサポートに取り組んでいます。〈ろうきん〉は、こうした活動をさらに強化・徹底し、勤労者を取り巻く様々な社会的課題の解決に取り組むことを通じて、SDGsの達成をめざします。
- 〈ろうきん〉は、勤労者の大切な資金を、勤労者自身の生活向上のための融資や、社会や環境等に配慮したESG投資などに役立てることを通じて、持続可能な社会の実現に資するお金の流れをつくりだしていきます。
- 〈ろうきん〉は、労働組合・生活協同組合などの会員や労働者福祉に関わる団体、協同組織・NPO・社会福祉法人・社団・財団などの非営利・協同セクター、自治体などとのネットワークを強化し、連携して地域における福祉・教育・環境・自然災害などの社会的課題の解決に取り組んでいきます。
- 〈ろうきん〉は、SDGs達成に向けた様々な取り組みやその成果を発信し、〈ろうきん〉を利用することがSDGs推進につながっていくことを会員や勤労者など広く社会に伝えることにより、SDGs達成に向けた共感の輪を広げていきます。

SDGsとは

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。

「貧困をなくそう」や「飢餓をゼロに」など17のゴールと、そのゴールごとに設定された169のターゲット（個別目標）で構成されています。世界的にその重要性が認識され、日本でもその積極的な推進が期待されています。



地域に根差した社会貢献活動



■ 清掃活動の実施

地域社会の貢献として北陸3県8か所の海水浴場や公園等の清掃活動を実施し、役職員336名が参加しました。

富山地区

日時 2022年10月29日
場所 岩瀬浜海水浴場
高岡古城公園
魚津総合公園

石川地区

日時 2022年10月29日
場所 内灘海水浴場
小松支店周辺道路
七尾駅周辺道路

福井地区

日時 2022年10月29日
場所 気比の松原海水浴場
鷹巣海水浴場



■ フードドライブ活動の実施

2022年10月1日～11月30日まで「フードドライブ」活動を展開しました。会員労働組合、来店者ならびに役職員から寄せられた518kg（50箱）のお米・インスタント食品等については、2022年12月に北陸3県のフードバンクへ寄贈しました。取組内容については、新聞、TV、Webの各メディアに取り上げていただきました。

【寄贈先】



■ 「可処分所得向上運動」を通じた「子ども食堂」支援の取り組み

勤労者の可処分所得の向上を目指したローン借換え運動を展開し、新規実績は1,259件、65億43百万円となりました。また、可処分所得向上金額は5億28百万円となりました。2023年6月に贈呈式を行い、借換成約件数に応じて「子ども食堂」を支援する3団体へ総額150万円（各地区50万円）を寄付しました。

【寄付先】

- 「富山地区」 富山県子どもほっとサロンネットワーク
- 「石川地区」 さわかかU
- 「福井地区」 こども食堂ネットワークふくい



■ 環境保護に向けた取り組み（ペーパーレス化、電気自動車の普及）

ペーパーレス化による森林保護やCO2排出量の低減を目的に「Webお知らせサービス」・「通帳レス口座」の成約件数、「現金封筒」削減枚数、国内の自動車販売台数(乗用車)に占める電気自動車販売台数の割合に応じて、総額60万円（各地区20万円）を2023年6月に、北陸3県の自治体へ寄付しました。

【寄付先】

「富山地区」 富山県農林水産部森林政策課

「石川地区」 石川県農林水産部里山振興室

「福井地区」 福井県エネルギー環境部環境政策課（環境ふくい推進協議会）

■ 若年層教育を通じたマネー教育の実施

お金に対する正しい知識を身に付けることで、安心して暮らせる社会を目指すため、若年層へ向けたマネー教育を行いました。結果は、48会員（延べ55回、参加者1,195名）となりました。

■ 学童野球大会の開催

地域の少年スポーツの振興と子供達の健全な心身の育成を目的に、ろうきん旗争奪学童軟式野球富山県大会、ろうきん杯福井県学童野球大会を開催しました。

■ 「24時間テレビ」へのチャリティー募金の取り組み

「24時間テレビ45」を通じて来店者・職員からのチャリティー募金を行い、総額356,456円を寄付しました。

■ 献血活動の実施

石川県赤十字血液センターと連携し、献血の啓発活動を行い、金庫役職員53名が献血を行いました。



■ 地域交流行事等を通じた募金活動の実施

チャリティー募金に取り組みました。

北陸3県19店舗が各地区でチャリティーイベントを開催し、総額1,609,155円を各自自治体や社会福祉協議会へ寄付しました。

店舗	チャリティー行事内容	寄付金額 (円)
富山支店	チャリティー映画会	150,000
魚津支店	チャリティーイベント映画大会	110,000
砺波支店	親子ふれあいチャリティー映画上映会	30,000
富山南支店	2022秋 映画祭り	100,000
黒部支店	「親子ふれあい映画上映会&お楽しみ抽選会」	40,000
本店営業部	2022北陸ろうきん感謝祭「謎解きinいしかわ動物園」	433,158
大聖寺支店		
小松支店		
七尾支店		
松任支店		
金沢南支店		
能美支店		
福井支店	チャリティー映画上映会	320,788
敦賀支店	ふるさと再発見!!ウォークラリー大会	29,568
丹南支店	チャリティー映画上映会、越前松島水族館ナイター貸切	221,953
小浜支店	チャリティー 家族ふれあい「いちご狩り」	30,000
金津支店	越前松島水族館ナイター貸切イルカショー&抽選会	50,000
奥越支店	イチゴ狩り「家族とふれあい～あまーいイチゴを頬張って～」	56,482
福井北支店	チャリティー映画会	37,206

☒ NPO・ボランティア団体への支援



■ NPO法人等への支援制度

北陸ろうきんでは、NPO法人やボランティア団体への金融サービスとして、3つの支援制度を取り扱っています。

支援制度の種類	制度の概要
NPO事業サポートローン制度	NPO法人の経済的支援のための融資制度で、法人の目的に係る事業の運転資金・設備資金を融資する制度です。
NPO寄付システム制度	NPO法人やボランティア団体の経済的基盤の充実・安定を支援するための制度で、会員や寄付をされる方が、ろうきんの普通預金口座から自動的に会費や寄付金を引き落とし、登録された寄付団体の口座に振り込む自動振替制度です。
NPO各種手数料免除制度	NPO法人やボランティア団体の経済的基盤の充実・安定を支援するための制度で、事前に登録された団体が、送金・振り込みする際の手数料などを免除する制度です。

働きやすい職場環境に向けて



■ 女性活躍推進法に基づく取り組み

「女性活躍推進にかかる行動計画」に基づき、女性の個性と能力が十分に発揮できる雇用環境整備を進め、一定の基準を満たし、状況が優良な「女性活躍推進企業」として、2022年2月に「えるぼし」認定を取得しました。（3段階のうち最高位）

■ 次世代育成支援対策推進法に基づく取り組み

「次世代育成支援対策推進法」に基づき、仕事と子育ての両立を図るための雇用環境整備に向けた「行動計画」を推進し、一定の基準を満たした企業として、2022年9月に「くるみん」認定を取得しました。

■ 「健康経営」推進に向けた取り組み

北陸ろうきんは本宣言の実現に向け、ワークライフバランスの実現やメンタルヘルスケアの実践、受動喫煙対策などを講じ、役職員等の健康増進に取り組んだ結果、2023年3月に経済産業省及び日本健康会議より「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」に認定されました。今後も職員一人ひとりが心身ともに健康で働くことができるよう、より良い職場環境の整備に向け、健康経営の推進に努めます。



■ 職場風土改革の取り組み

全ての職員が心身ともに健康でやりがいを持って働き続けることができる活力ある職場づくりを目的に、「私の行動宣言」の作成、「役員対話集会」・「ハラスメント研修」等を通じて「職場風土改革」推進に向けた取り組みを進めました。

自然災害に係る取り組み

自然災害（地震・台風・大雨・大雪等）により被害を受けられた方の復興に向けた支援として、以下の取り組みを行っています。

1. 融資関連の特別措置

- (1) 既往融資者（罹災者）への特別措置
 - ①返済期日猶予
 - ②金利減免措置
 - ③延滞利息減免
 - ④その他特別措置（割賦金変更・元金返済据置・返済条件変更）
- (2) 罹災者及び親族向け融資
 - ①災害救援ローン（無担保）
 - ②災害救援住宅ローン（有担保）
- (3) 二重ローン問題への対応

2. 手数料免除の措置

- (1) 「災害救助法」の適用となった災害については罹災証明書の提出により、「住宅ローン」「災害救援住宅ローン」の担保不動産取扱手数料・全額繰上償還手数料について、免除措置をとっています。
- (2) ろうきんの窓口から会員団体等が開設した義援金振込口座への送金にかかる為替手数料について、免除措置をとっています。

お客さまとともに

■ 金融円滑化への取り組み状況

当金庫は、「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律（金融円滑化法）」の期限（2013年3月31日）経過後も引き続き、住宅ローンご利用者からの借り入れの返済にかかる負担軽減のご相談に関し、「生活応援運動」の一環として積極的な対応に努めています。

貸付条件の変更等の申し込みを受けた貸付債権

		件数	金額
住 宅 ロ ー ン	貸付条件の変更等の申し込みを受けた貸付債権	548件	7,520百万円
	実行に係る貸付債権	511件	7,057百万円
	謝絶に係る貸付債権	9件	139百万円
	審査中の貸付債権	－件	－百万円
	取下げに係る貸付債権	28件	324百万円

(注) 1. 中小企業者からの貸付条件の変更等の申し込みを受けた貸付債権の件数・金額はありません。

2. 件数・金額は、金融円滑化法施行から2023年3月末までの累計です。

※金融円滑化への取り組み状況は当金庫ホームページにて掲示しています。（<https://hokuriku.rokin.or.jp>）

■ お客さまサービスの向上

「ろうきん」らしい暮らしを支える商品・サービスの提供に努めています。「生活応援運動」の中心である「生活設計・生活応援・生活改善」の3本の柱に「運動基盤の確立」と「地域社会への貢献」の取り組みを加えて、勤労者の生活設計支援・可処分所得向上に努めてきました。

働く人のライフステージに合わせた資産形成支援の取り組みとして、税制優遇のある「NISA」「つみたてNISA」「iDeCo」を広く推進し、将来に備えるための提案をおこないました。また、多様化するニーズに対応したサービス提供として、「Webローン」「ろうきんダイレクト」「ろうきんアプリ」「スマホ決済サービス」などの非対面サービスの利用促進を図り、デジタル化・キャッシュレス化の進展に即した利便性向上の取り組みを展開しました。

新型コロナウイルス感染禍に伴い、厳しさを増す勤労者の労働・生活環境を踏まえ、「勤労者生活支援特別融資制度」の取り扱い継続や「借換で家計見直しキャンペーン」「ご家族紹介キャンペーン」を通じて、勤労者の支援活動に取り組みました。

今後も働く人々と幸せを共感できるサービスをお届けするため一層の努力を続けていきます。

主な新商品・サービス

● 生活応援運動の実施

「生活設計・生活応援・生活改善」の3本の柱に可処分所得向上の取り組みを展開して、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染禍においての勤労者の生活支援策として、既存ローンの返済方法等の見直しや、他金融機関で利用中のローンの見直し提案を行いました。

● 若年層への対応

成年年齢引き下げに伴い、「新・大人社会のガイダンス」のYouTube動画やパンフレットを作成し、若年層組合員への金融リテラシーの向上に努めました。また、若年層を対象とする「フレッシューズパック」を展開し、給与振込の指定によるメインバンク化、ならびにろうきんアプリ等のデジタル化・キャッシュレス化に向けた各種サービスの推進を図りました。

● 引受条件緩和団信の導入

健康上の理由により団体信用生命保険に加入できなかったお客様に安心して住宅ローンをご利用いただくため、引受条件緩和団信を導入しました。

■ 各種支援融資の実施

当金庫では「生活総合福祉金融機関」の役割を担うため、融資制度や協賛などに取り組んでいます。今後も働く人たちの暮らしを側面から支える活動を積極的に展開していきます。

- 新型コロナウイルス感染症の影響により収入減少・離職等を受けたお客さまへの対応として、「勤労者生活支援特別融資制度」の取り扱い
 - ・無担保融資（生活資金・教育資金・住宅資金）
 - ・住宅ローン借換融資
 - ・既存融資の条件変更
- 次代の社会を担う就学前の児童を持つご家庭を支援するための「ろうきん育児支援ローン」の取り扱い
- 被災された方々を支援するための「災害救援ローン」の取り扱い
- 「技能者育成資金融資制度」の取り扱い
- 「求職者支援資金融資制度」の取り扱い
- お客さまの収入減少等の生活応援を目的とした「生活応援特別融資制度 サポート50」の取り扱い
- 奨学金の借換を目的とした「教育ローン〈奨学金借換専用プラン〉」の取り扱い
- 各提携自治体の預託金を活用し、住宅費用や下水道改造資金に利用いただける自治体提携融資制度の推進
- ローン金利の引下げ項目を設定している「いしかわの木づかい応援住宅ローン制度」、「県産材を活用したふくいの住まい支援事業」、「福井県防犯モデル戸建て住宅認定制度」の推進
- 石川県の「プレミアムパスポート事業」や福井県の「『ふく育』応援事業」に協賛し、ローン金利の引下げ項目を設定

各種支援融資の利用状況

	新規件数	新規実行金額	貸出金残高
ろうきん育児支援ローン	5	385万円	1,217万円
技能者育成資金融資	2	292万円	3,067万円
求職者支援資金融資	1	10万円	307万円

- (注) 1. 新規件数、新規実行金額は2022年度
2. 貸出金残高は、2023年3月末現在の残高を記載しています。

■ ライフプラン支援活動

● 生活応援運動の推進

「生活応援運動」における可処分所得向上の取り組みでは、会員と連携した個別面談・アンケート等を実施し、他金融機関で利用中のローン見直しによる金利及び返済金の負担軽減を提案する活動を展開しました。また、「借換で家計見直しキャンペーン」を実施し、他金融機関で利用中のローンの見直しの提案をするとともに、低利な「勤労者生活支援特別融資制度」の周知を行い、コロナ禍による収入減少を補うための支援を展開しました。さらに「ご家族紹介キャンペーン」を展開しローンの利用拡大も図りました。

勤労者生活支援特別融資制度

新規件数	新規実行金額
20件	18百万円

個別面談の取り組み

実施会員数	面談者数
172会員	3,645名

ローンご紹介の取り組み

紹介件数	成約件数
101件	96件

可処分所得向上の取り組み

商品	相談件数	成約件数	可処分所得向上金額（概算）	
			総額	1件あたり
無担保ローン	1,275件	1,044件	3億7,354万円	357,796円
有担保ローン	451件	215件	1億5,543万円	722,930円
合計	1,726件	1,259件	5億2,897万円	416,748円

※「可処分所得向上金額」とは、ローン見直し等によって自由に使えるお金が増えた金額です。

● 多重債務対策の取り組み

会員組合員が多重債務に陥らないために、会員・推進機構・関係諸団体と連携し、多重債務の予防・啓発セミナーを開催しました。また、高金利な他行他社カードローンを利用させないために<ろうきんカードローン>の保有も推進しました。

多重債務対策の取り組み状況

相談	件数	
		2件

多重債務防止セミナー	回数	人数
	14回	279人

借換や一本化による融資状況

融資商品名	件数
おまとめ名人	9件
生活応援プラン（無担保）	0件
フリーローン借換プラン	327件

● ライフステージに合わせた資産形成の取組み

恒常性預金として「はじめよう！つみたてキャンペーン」を展開し、財形貯蓄やエース預金の利用拡大を図りました。そして、「フルキャッシュバックサービス」・『フレッシュアーズを応援！<ろうきん>とはじめよう「フレッシュアーズパック」』を周知し給与振込指定による家計のメイン化も図りました。また、生涯取引拡大に向けた退職セミナーの開催等、会員・推進機構・関係諸団体と一体化した年金振込口座の取引拡大も積極的に取り組みました。

投資信託、個人向け国債、保険商品など資産運用商品の提案活動や税制優遇制度のある「NISA」「つみたてNISA」「iDeCo」についても将来の資産形成の重要な柱として位置づけ裾野拡大にも努めました。